

# 大阪府食育推進計画の取組方針

## 【基本方針】

国が策定した食育推進基本計画では、食育の推進について、「国民が生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むため、今こそ、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を国民運動として推進していかなければならない。」と定めています。

大阪府食育推進計画は、「くいだおれのまち」と言われた大阪の歴史・伝統を活かし、府民一人ひとりが自らの意思で食育に取り組むとともに、府民が実践する食育を地域、教育機関、生産者、食品関連事業者など各団体等が支援し、食育を府民運動として推進することを基本方針とします。

## 府民運動としての推進

府民一人ひとりが健全な食生活を実践するためには、府民自らが食に関する正しい知識や食を選択する確かな判断力を主体的に身に付けることが大切です。

食育推進強化月間や食育の日の設定、イベント開催、広報啓発活動の強化などを通じて、広く府民に食育に関する情報提供を行うとともに、各団体等が地域に密着した継続的な食育活動が展開できるよう食環境の整備に取り組みます。

## 2 食育推進のネットワークづくり

食育の推進にあたっては、教育・保育、生産者、食品産業、流通産業、外食産業等の関係者やその団体、消費者やボランティア団体等様々な関係者がそれぞれの立場から取り組むとともに、これらの関係者が共通認識を持ち、一体的に推進していくことも必要です。

大阪府では、平成18年8月に様々な分野で食育に取り組んでいる32の団体から構成される「大阪府食育推進ネットワーク会議」を設立しました。同会議を通じて団体相互に連携・協働をすすめ、府民運動の中核となるネットワークをつくるとともに、府民の身近な存在である市町村が行う食育を支援し、地域に密着した食育を推進します。

## 3 子どもに重点をおいた取組

食育は全ての世代において必要ですが、食習慣が形成されつつある子どもに対する食育は特に重要です。また、子どもに対する食育を通じて、その内容を保護者の世代、祖父母の世代へ波及させることも効果的です。府民調査でも、食育に関心がある理由として「子どもの発達に重要」とする回答が最も多くみられました。

このことから、大阪府では、子どもの食育を重点的に推進し、子どもが食に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を考え、望ましい食習慣を実践できることを目指し、生活習慣の基礎をつくる早い時期から楽しく食を学ぶ取組を推進するとともに、子どもの保護者等に対しても適切な知識の啓発等を積極的にすすめます。

## 4 歯と口の健康づくりと連携した推進

健康な食生活を送るためには、健全な口腔機能の育成・維持は不可欠です。健康な歯でよく噛み、味わうことは、肥満防止、脳の活性化など全身の健康づくりにつながるだけでなく、QOL（生活の質）を高め、豊かな人生を送ることができることから、市町村保健センターにおける歯科健康診査や学校歯科保健活動などの歯と口の健康づくりと連携して、食育の取組を展開します。

## 5 情報の発信

府民の食育への関心と理解を深めるとともに、食に関する情報を適切に判断する能力を高めるためには、様々な分野での基礎的データや取組状況、イベント等必要な情報を容易に入手することができるよう総合的な情報提供を行う必要があります。

大阪府が、平成16年に食育の情報発信のために開設したホームページ「おおさか食育通信」(<http://www.osaka-shokuiku.jp>)をより一層充実して、最新の情報提供を行うとともに、府民と食育に取り組んでいる関係者等の情報交換の場にします。また、マスメディア等の各種広報媒体を通じて食育に関する情報提供をすすめるとともに、口コミなどによる直接的な情報提供も有効であることから、地域で活動する食生活改善推進員など食に関するボランティア等に対して最新の情報を提供することを推進します。